



2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【北九州市】

学校名【北九州市立 古前小 学校】

1 実践テーマ	I・II・ III ・IV・V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	第1学年 15名、2学年14名、3学年13名 第4学年16名、5学年10名、6学年21名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間、道徳） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	○ 視覚障害者の方の苦勞や工夫を知ったり、ブラインドサッカー選手の話の聞いたりし、アイマスクの使用体験やゲームを行う活動を通して、誰もが気持ちよく生きるために必要なことについて自分の考えをもち、実践していこうとする態度を養う。
5 取組内容	(1) ブラインドサッカー体験学習 11月28日（木）、ブラインドサッカーの元日本代表の山口選手によりブラインドサッカーを始めた理由や普段の生活の様子を聞いた後、二人一組で「ブラインド体操」を行った。その後、体育館内をアイマスクをつけて一周する「ブラインドウォーク」を行った。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p>先方にいる友達が呼ぶ声を頼りに進むことは大変難しく、違うところへ向かってしまう児童が多かった。続いて、山口選手によるブラインドサッカーの模範演技を見せていただいた後、グループごとに分かれてブラインドサッカー体験を行った。</p>



「転がしてコーンあて」や「蹴ってコーンあて」などのゲームで実際にアイマスクをつけて、ペアの相手が、声をかけて動き方を教えてボールをけることを

体験した。目を隠して全く見えない状態でボールをコントロールすることの難しさを体感することができた。



児童は次のような感想をもった。

- ・ 音の鳴るほうに動くことは意外に難しかった。
- ・ 音は聞こえるのにどこにあるか全然わからなかった。こんな難しいことを山口選手はすごいと思った。
- ・ ガイド役の大切さがよくわかりました。
- ・ アイマスクをすれば、目の見える人と見えない人が一緒にスポーツを楽しめることが分かってよかったです。



子どもたちは、講話や体験を通して、目の不自由な人たちの思いや頑張っている様子、スポーツをするやりがいなどに気が付いた。また、仲間と一緒に活動することでより楽しい活動になり、普段の生活もより豊かになることを学んだようだ。

体験後に、学級の中で意見交換する中で、誰もが気持ちよく生きるために必要なことについて考えた。そして、これから、それぞれが実践していこうとすることを確かめ合った。

- ・ 町で目の不自由な人を見かけたら、声をかけたい。
- ・ 目の不自由な人たちが少しでも楽に生活できるようにしてあげたい。
- ・ 一人で食事の用意や洗濯などを全部するのは大変だなと思いました。
- ・ 他にも、目の不自由な人や体の不自由な人たちと一緒にできるスポーツがあればしてみたいです。
- ・ 人に何かを伝えるときに、できるだけ音や声を出して伝えていきたい。
- ・ 困っている人を見たら、勇気を出して教えてやることが大事だとわかりました。

6 主な成果

○ 体験を通して感じたことをまとめたり、話し合ったりして障害をもつ人たちの気持ちを考えたことにより、相手の立場を考えた言葉かけや行動をしようとする気持ちが芽生え、実践しようとする児童が増えた。言葉かけの大切さや人とのコミュニケーションをどうやって取ればよいか分かり、自信をもった児童が多かった。

<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昨年、上学年だけの体験だったので、今年は低学年にも体験してもらった。講師の先生に低学年と上学年のプログラムをほんの少し変えてもらった。 ○ アイマスクやゴールポストなど道具を持ってきていただいたので、こちらが用意するものが特になかった。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特定の障害やスポーツへの興味から、オリンピックやパラリンピックへの興味・関心へとつないでいくこと。 ○ そのためにも、ほかのスポーツにも触れさせていきたい。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、オリンピック・パラリンピックへ向け、スポーツへの興味を持続させるために、何らかのスポーツの体験や、授業実践をしていきたい。